

安心して暮らせるまちづくりを 行政と一緒にやって

昨年11月から今年1月にかけて、県内10市の首長にご出席いただき、生協組合員と行政との懇談会が開催されました(防府市は1/29、長門市は1/30、山口市は1/31を予定)。

この懇談会は24年目となり、首長と住民(生協組合員)が「くらしをよくするためのテーマ」を話し合い、お互いの理解をすすめながら、行政との協同活動や、住民の声を反映させた住みよい街づくりにつながることを目指しています。

岩国

テーマ 「エシカル、SDGsについて」

コープのSDGsに関する取り組みとして、「岩国れんこん掘り取り体験」「がん検診」「岩国市スポレクフェスタ」等の活動を紹介しました。また、岩国市からは食品ロスの現状や、新設されたごみ焼却施設サンライズグリーンセンターでのごみ分別についてお話いただきました。市の計画にも次年度からSDGsの視点を取り入れて推進すること、コープやまぐちとしても組合員への広報や学習を積極的に行うことで、共に進めていけたらと思います。



▲福田良彦 岩国市長(前列中央)と。(11/12)

下関

テーマ 「エシカル消費とSDGs」「地域包括について」

SDGsに関して、もずく基金などコープが取り組むエシカル消費について紹介しました。市のプロジェクト「クールチョイスしものせき」のパネリストに依頼された経緯から、今後も市のイベントに積極的に参加していきたいと伝えました。また、ゴミの分別について、出前講座やごみ収集車の実演・展示も可能とお聞きし、学習会として次年度から活動に取り入れていきたいと思います。地域包括は分野ネットの見守り活動を紹介し、市の担当者さんとの話はずみ、和気あいあいとした懇談会となりました。



▲前田晋太郎 下関市長(前列左から3人目)と。(11/19)

美祿

テーマ 「子育て支援、SDGsを広げる取り組みについて」

宅配のハウスなどコープの拠点が今後市内の中心地にできるとしたら、親子の居場所や高齢者のサロンの役割も担えることから、事務所移転などで空く建物の情報提供も行政の方からいただきたいというお話ができました。また美祿市では世界ジオパーク(※)の認定を目指し、ふるさとを知り守るために何ができるかを子どもたちに伝えることを進めているとのこと。組合員にも興味を持ってもらえるよう、お知らせを続けていこうと思いました。



▲西岡晃 美祿市長(左から3人目)と。(11/29)

光

テーマ 「高齢者になっても安心して暮らせるまちづくり」

虹ヶ丘コープ委員会のメンバーも出席し、認知症サポーターの出前講座を委員会で活用したことを報告。市からは光市介護支援ボランティア制度の現状をお聞きし、高齢者が集える場として、ここと島田店集会室の活用を提案したところ、大変喜ばれました。市長より、『「三つの“わ”(対話・人の和・調和)」を合言葉に、市民との絆を深め、協働していきたい』とご挨拶いただき、市民の1人として、ボランティア登録する等、見守り活動に携わってきたいと感じました。



▲市川照 光市長(前列中央)と。(11/29)

※世界的に貴重な地質、地形、火山などの地質遺産を複数有する自然公園。世界遺産の地質版ともいわれ、世界ジオパークネットワークが審査・認定を行っている。



今後も行政と一緒にやって
住みよいまちづくりを
目指していきます。

萩

テーマ 「SDGs」

SDGsに関して「平和」「住み続けられるまちづくり」「食育」について、意見交換を行いました。ピースフォーラム・食育活動などを報告し、行政サービスの在り方でゴミ収集の効率化や移動手段的確保などが重要課題だというお話と、「住み慣れた地域で暮らし続けられるよう手当てしていきたい」という市長の思いを伺いました。地産地消や萩の海の恵みの大切さを子どもたちに伝え、故郷に戻ってきてほしい、また萩市が存続できるよう市と組合員が協力していこうと話し合いました。



▲藤道健二 萩市長(前列中央)と。(12/26)

3.11を忘れない：みやぎ生協コープふくしまから宮城・福島のいまをお伝えします

「まち・住まい・コミュニティ」
復活した閉上の魅力を
発信していきたい
宮城県名取市／かわまちてらす閉上

名取市内でも津波被害の大きかった閉上地区に、2019年4月、観光と交流の商業施設、かわまちてらす閉上(以下、かわまちてらす)がオープンしました。名取川の堤防沿いにレストランやカフェ、海産物店などが建ち並び、食はもちろんだ歩やツーリングなどアクティビティも楽しめる人気スポットとなっています。

また周辺では宅地開発が進み、地元の人たちの新たな交流拠点としても注目されています。
「(株)かわまちてらす閉上の菊地祥弘さんは、名取川堤防沿いのエリアは元々商店街があったところ。地元の人たちにとっては昔から身近な場所だった」と言います。

震災で大きく傷ついた閉上ですが、地元の商業者たちは「閉上にもう一度かつての賑わいを取り戻したい」と立ち上がり、名取川の景観を活かしてかわまちてらすをつくりました。

かわまちてらすをきっかけにまちづくりが進めば、定住者の増加につながるの期待もあります。

「ここは閉上の復活の象徴。地域の期待の大きさをひしひしと感じている」と菊地さん。この夏、広場をステージにして開催したカラオケ大会には大勢の地元住民が参加し、その場で次の開催を待つ声があがるほど盛り上がったそうです。

オープンから約6ヶ月。かわまちてらすは平日にも関わらず、食事や買い物を楽しんだり、堤防沿いを散歩したりする大勢の人で賑わっています。



▲かわまちてらす閉上。閉上の海と松からイメージしたダークグリーンの建物に地元や市外・県外から出店した26のテナントが入っています。



▲(株)かわまちてらす閉上の菊地祥弘(よしひろ)さん。「来客数の増加をかわまちてらす各テナントの経営安定につなげていくことが今後の課題」と話します。

©かわまちてらす閉上 <https://kawamachi-terasu.jp/>

「土日の来客はさらに多い。芋煮やイルミネーション、お花見など様々なイベントを実施し、賑わいを継続していきたい」。

かわまちてらすはロケーションの良さでも人を惹きつけています。「この風景、素晴らしいでしょ」と菊地さんの指さす方を見れば、海と空に向かつてゆったりと流れる名取川が目に入ります。風景を楽しみながら食事や買い物ができる、仙台の都心部からも近く気軽に足を運ぶことができます。

「震災を乗り越えて復活した閉上を見にきてほしい。そのためにこれからも閉上の魅力をかわまちてらすから発信していきたい」。歩みは始まったばかり。閉上の賑わいがずっと続くよう、菊地さんたちは様々なもてなしのアイデアを練り出しながら、お客さまを迎えています。

情報提供／みやぎ生協コープふくしま
(作成：2019年12月)

(一社)やまぐち食の安心・安全研究センター報告 12月

一般社団法人やまぐち食の安心・安全研究センター生協検査部門では、生協独自判定基準に従って、宅配・店舗・夕食宅配取扱商品の抜き取り検査等を行っています。



【微生物検査】
宅配商品92検体のべ306項目(一般細菌数/大腸菌群/大腸菌/黄色ブドウ球菌/サルモネラ属菌/腸炎ビブリオ/クロストリジウム属菌)
2検体2項目のコープやまぐち基準超過あり 取引先に改善指導。
店舗商品20検体のべ70項目(一般細菌数/大腸菌群/大腸菌/黄色ブドウ球菌/サルモネラ属菌/腸炎ビブリオ/クロストリジウム属菌)
結果は全て良好。
※その他、夕食宅配43検体のべ135項目の検査を実施。

【理化学検査】
生協不使用添加物、成分分析等の検査:宅配商品1検体のべ1項目。その他、依頼検査2検体のべ2項目の検査を実施。
残留農薬検査:宅配商品23検体のべ3,765項目、店舗商品12検体のべ1,974項目。結果は、すべて良好。
※その他、夕食宅配4検体のべ692項目、その他の依頼31検体のべ5,164項目の検査を実施。
■詳しい結果はホームページで月次報告中。

コープ子育てひろばのお知らせ

子育てひろばは赤ちゃん・未就学児を対象にした、出会いの場・ふれあいの場です。

参加予約は不要。いつ来ていつ帰ってもOK ただし、気兼ねなく使っていたくため、光水熱費やドリンク代、保険の一部として利用料1家族1回100円をいただきます

催し物は特にありません。
絵本やおもちゃなどの遊び道具はありますが、基本的にノンプログラムで、のんびりくつろげ、自由に過ごせる空間を提供する場です。

先輩お母さんのスタッフがサポートします。
専門家ではありませんが、子育ての悩みなどに対して、経験を聞いたりすることで気が楽になることもきっとあるはず。

- 今日の日程 10:30~13:30(周東・岩国センターは10:30~13:00) 次回 3/24(火)
- 1/28(火) 「はあもにい〜♪(小郡店前)」(山口市)
 - 2/6(木) 「とくやま店組合員集會室」(周南市)
 - 2/14(金) 「萩センター組合員集會室」(萩市)
 - 2/17(月) 「岩国センター」(岩国市)
 - 2/20(木) 「厚狭センター」(山陽小野田市)
 - 3/10(火) 「周東センター組合員集會室」(田布施町)
- 2月はお休み



お問い合わせ：☎0120-27-5520 ※ホームページでは会場の地図も掲載しています。

令和元年 台風19号災害緊急募金に約456万円が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

お寄せいただいた募金**456万9,162円**に、大きな被害があった「サンくらふとの会」のりんご生産者へのお見舞いとして、虹の助け合い基金より50万円とコープやまぐちからの50万円を加え、**556万9,162円**の配分を、組合員も参加する「虹の募金箱運営委員会」で決定し、以下のようにお贈りしました。

日本生協連へお届け

- 被災された方への義援金及び支援金
…**100万円**

日本赤十字社山口県支部へお届け

- 被災された方への義援金…**100万円**
「虹の助け合い基金※」から義援金100万円を拠出し、11月5日に先行して日本赤十字社山口県支部へ寄託しました。



※国内外で発生した自然災害などの被災者や、被災産直生産者を支援する基金。

長野県りんごの産直パートナー「サンくらふとの会」へお届け

- お見舞金…**356万9,162円**

長野県の千曲川の氾濫により、大きな被害を受けられた「サンくらふとの会」のりんご生産者の皆様へ、お見舞金と一緒に、組合員さんから寄せられた応援メッセージ**62枚**もお届けしました。

「サンくらふとの会」の被害状況

千曲川の氾濫により、生産者8名中、4名のりんご園地と、うち3名の家屋・倉庫・機材ともに冠水被害があり、転居を余儀なくされた方もいらっしゃいます。会全体のりんご園地の約半分が被害を受けており、出荷量も半減の見込みで、被災した園地の復旧は、来期以降も見通しが立たない状況とのことです。



組合員の皆さまのご協力、誠にありがとうございました。

コープのつながり応援

おしゃべり会

たくさんのご利用ありがとうございました!

報告書から一部ご紹介

バイク仲間新米パパの会

セットのたこ焼きは、えびせんべいで挟んで「たこせん」にしました。公園などの男子トイレにはオムツ替えシートがない所が多いので苦労しているという話や、子どもの歯みがきの良い方法はないかという話(奥さんは上手なのに)、趣味と育児の両立の話をしました。たまにはこうやってパパ同士の情報交換がしたいと思います。



久しぶりのママ友の集まり

子どもが大きくなるにつれて集まる回数も少なくなってきましたが、毎年おしゃべり会の時期には集まってわいわいできるので、ありがたいです。忙しい毎日の中で、友達と集まって話すことはストレス発散になるし、これからも続けていけるといいなと思います。



古希を迎えた友人同士で

高齢の父母を看病する人、既に見送った人が「こんなことをすれば良かった」と心残りなことなど、経験を話し合いました。おしゃべり会で集まって、ストレスも解消でき、また元気に暮らせます。



1万6000人以上の方にご利用いただきました!



おかげさまで創立**20周年!**
あなたも是非「さんコープ」にご加入ください!!

コープやまぐち内で「生協の福祉」についての論議が始まったのが26年前。その後、介護保険事業を主とした福祉生協として1999年に誕生したのが「福祉生活協同組合さんコープ」です。

さんコープの活動

【助け合いサービス事業】

ワーカーによる草取り、剪定、家事、障子の貼替等

【福祉グループ活動】

組合員による自主的な学びやボランティア活動等

【介護保険事業】

ケアマネージャー、ヘルパー、デイサービス

【居住事業】

宇部有料老人ホーム、コープここハウス湯田 他

現在の主な活動地域は山口市・防府市・宇部市です。「住み慣れた我が家で、地域で、安心して心豊かに暮らしたい」という願いをより多くの街で実現し、沢山の方々と喜び合えるよう、是非あなたも組合員としてご参加ください!

■ 加入申し込み・お問い合わせ

〈事務局住所〉 山口市小郡上郷901-21 (コープやまぐち内)

〈電話〉 **083-902-3830**

〈ホームページアドレス〉 <http://www.san-coop.jp>